

広

～広陵東小学校区～

陵町コミュニティカルテ



平成30年7月

広陵東小学校区

1. 区域

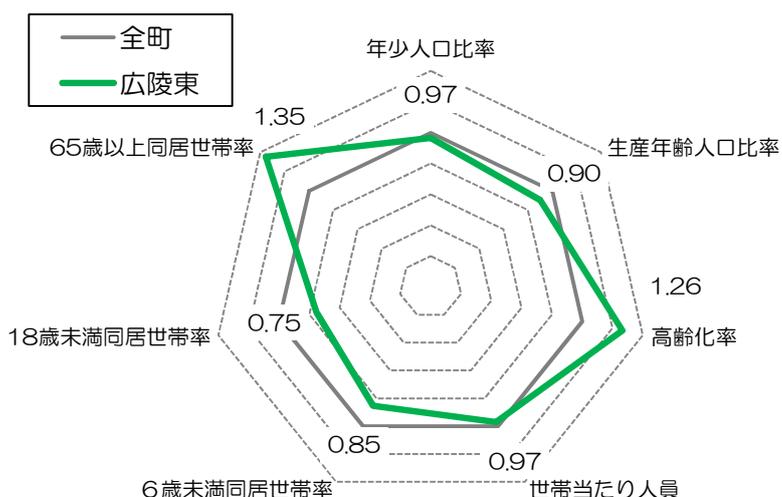
学校名	通学区域
広陵東小学校	南郷・古寺・百済・広瀬・三吉（高田川以東）・中（中263から276-2まで）

2. 主要統計指標（基準日：平成 29 年 12 月末日 ※同居世帯数（世帯率）は平成 25 年 9 月）

■広陵東小学校区

項目	広陵東	順位	全町
総人口	4,543 人	5	35,002 人
面積	5.2 km ²	1	16.3 km ²
人口密度	8.7 人/ha	5	21.5 人/ha
年少人口（0～14 歳）	658 人	4	5,247 人
生産年齢人口（15～64 歳）	2,486 人	5	21,232 人
老年人口（65 歳以上）	1,399 人	5	8,523 人
年少人口比率	14.5%	3	15.0%
生産年齢人口比率	54.7%	5	60.7%
高齢化率	30.8%	1	24.4%
世帯数	1,728 世帯	5	12,914 世帯
世帯当たり人員	2.63 人	4	2.71 人
6 歳未満同居世帯数 （世帯率）	153 世帯 (10.0%)	5 4	1,419 世帯 (11.8%)
18 歳未満同居世帯数 （世帯率）	274 世帯 (18.0%)	5 5	2,887 世帯 (23.9%)
65 歳以上同居世帯数 （世帯率）	857 世帯 (56.2%)	4 1	5,009 世帯 (41.5%)

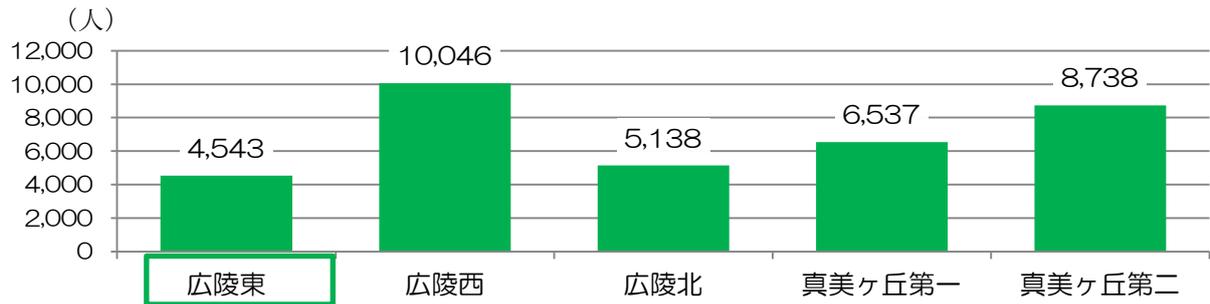
■広陵東小学校区の水準（全町＝1とした指数）



- 高齢化率が高く、65 歳以上同居世帯率も高い。
- 年少人口比率が低く、6 歳未満同居世帯率及び 18 歳未満同居世帯率が低い。
- 人口密度が低い。

3. 人口など

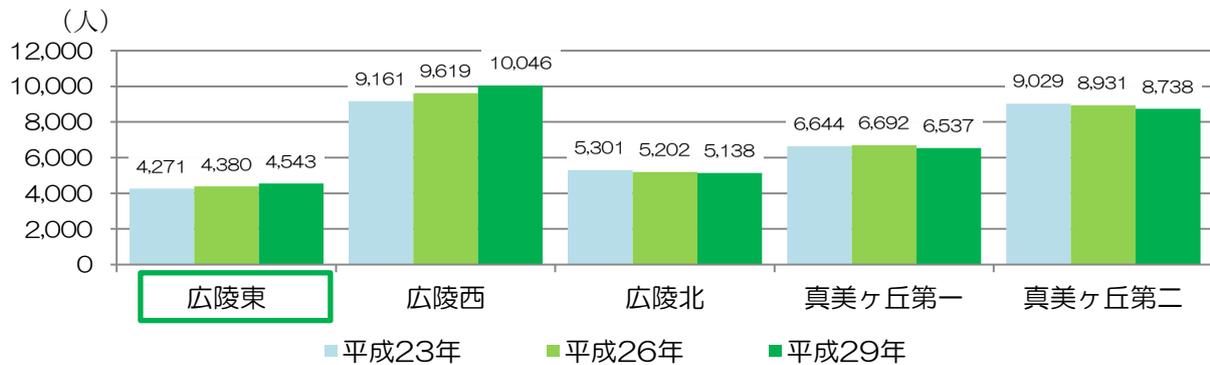
■総人口



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

広陵東小学校区の人口は 4,543 人で、全小学校区中 5 番目となっている。

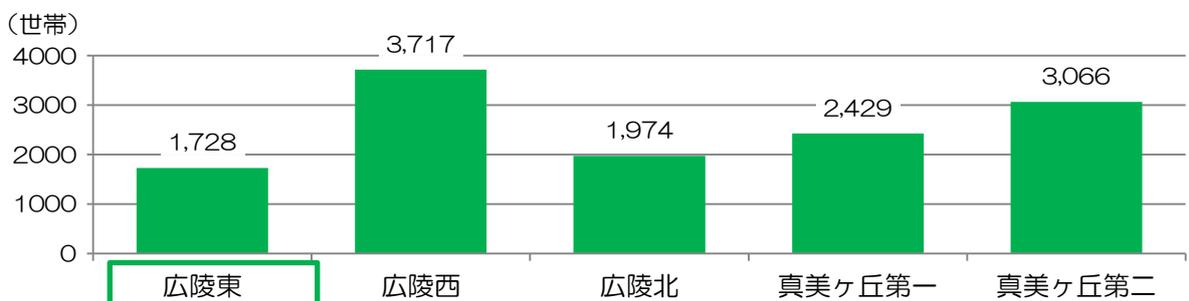
■総人口の推移



資料：住民基本台帳（平成 23 年、平成 26 年、平成 29 年、各年 12 月末）

広陵東小学校区の人口は、平成 23 年から比較して 272 人の増加（6.4 ポイントの上昇）となっている。

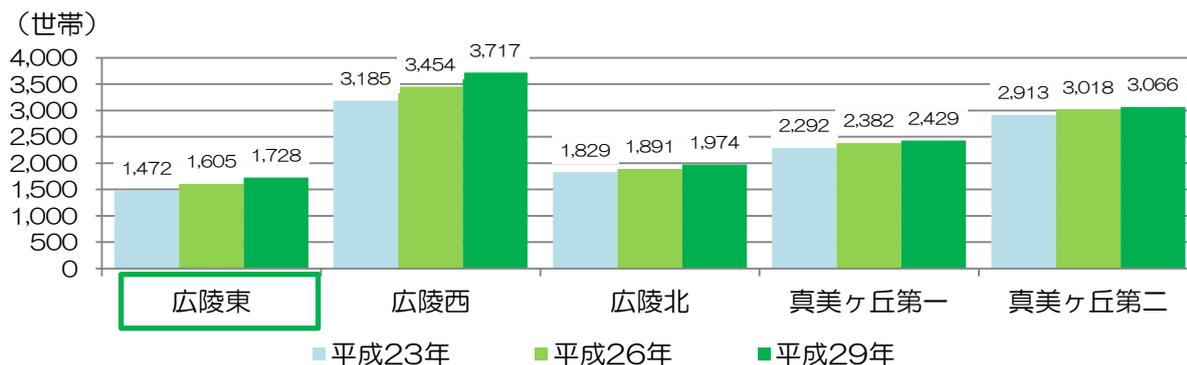
■総世帯数



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

広陵東小学校区の世帯数は 1,728 世帯で、全小学校区中 5 番目となっている。

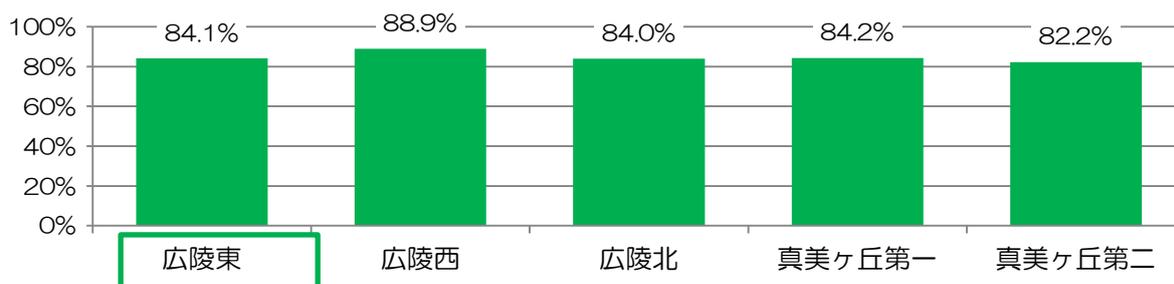
■総世帯数の推移



資料：住民基本台帳（平成23年、平成26年、平成29年、各年12月末）

広陵東小学校区の世帯数は、平成23年から比較して256世帯の増加（17.4ポイントの上昇）となっている。

■自治会加入世帯割合



資料：区長・自治会長アンケート調査（平成29年10月）

広陵東小学校区の自治会加入世帯割合は、84.1%で全小学校区中3番目となっている。

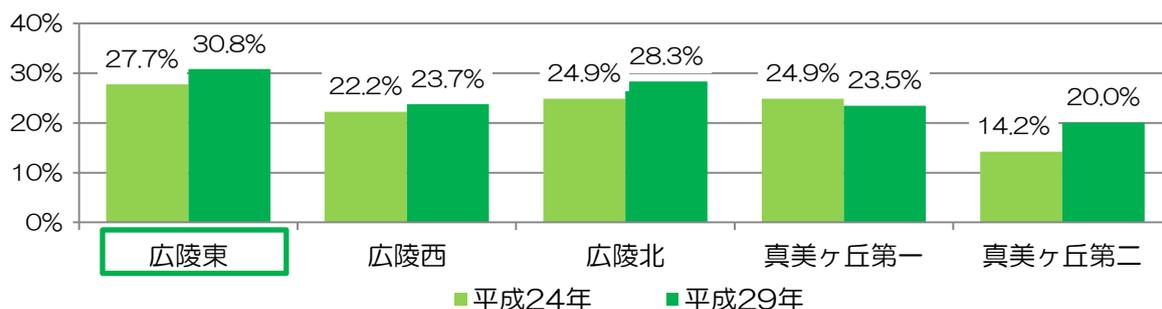
■年齢3区分人口構成比



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

広陵東小学校区の年齢3区分人口構成比は0～14歳人口が14.5%で、全小学校区中3番目、15～64歳人口が54.7%で、全小学校区中5番目、65歳以上人口は30.8%で、全小学校区中1番目となっている。

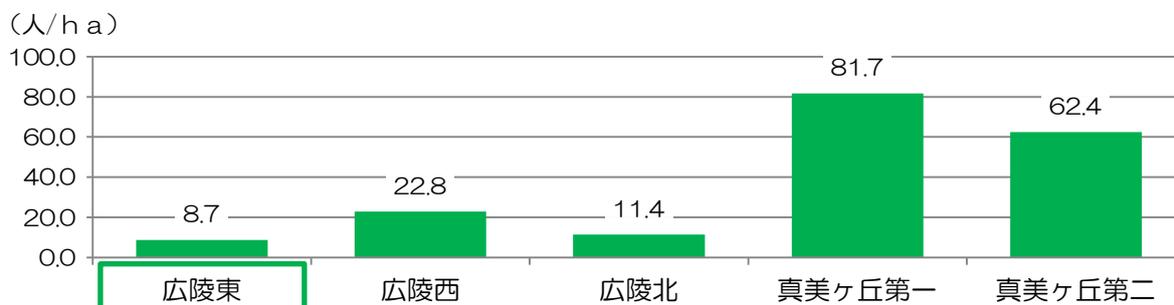
■高齢化率の推移



資料：住民基本台帳（平成 24 年、平成 29 年、各年 12 月末）

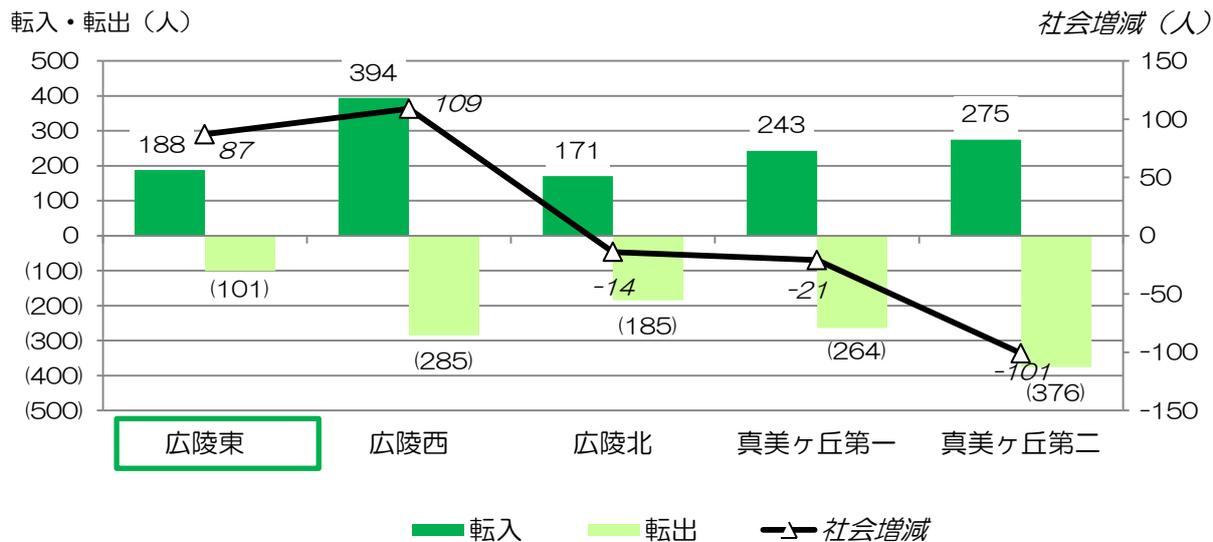
広陵東小学校区の高齢化率は、平成 24 年から比較して 3.1 ポイントの上昇となっている。

■人口密度



広陵東小学校区の人口密度は、全小学校区中最も低くなっている。

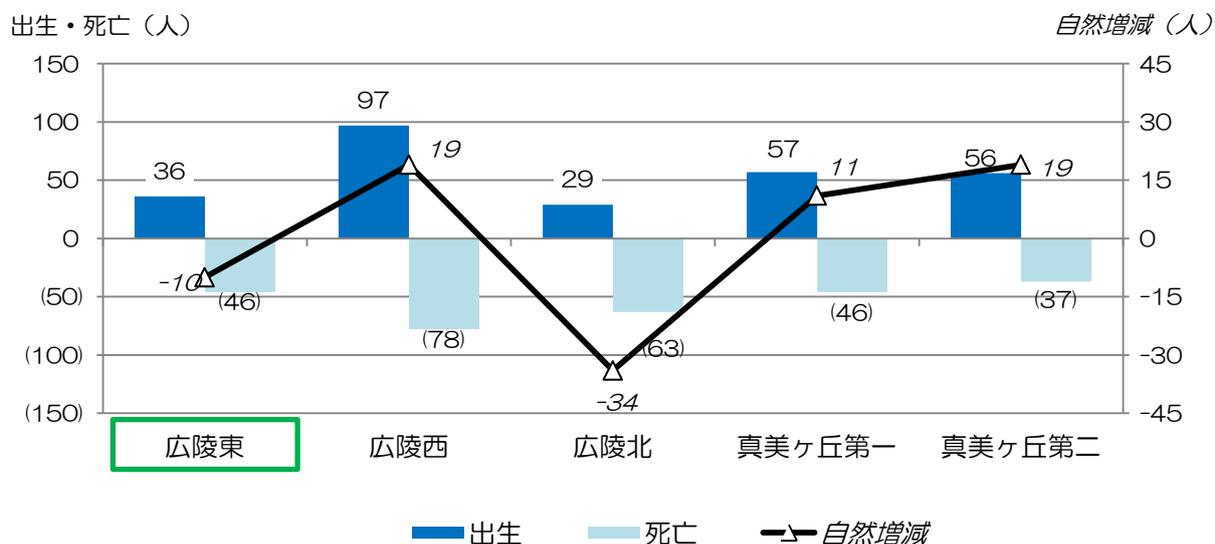
■社会動態



資料：住民記録 増減表（平成 28 年度）

広陵東小学校区の社会増減は、転入が 188 人、転出が 101 人となっており、87 人の社会増となっている。社会増減数は全小学校区中 2 番目となっている。

■自然動態



資料：住民記録 増減表（平成 28 年度）

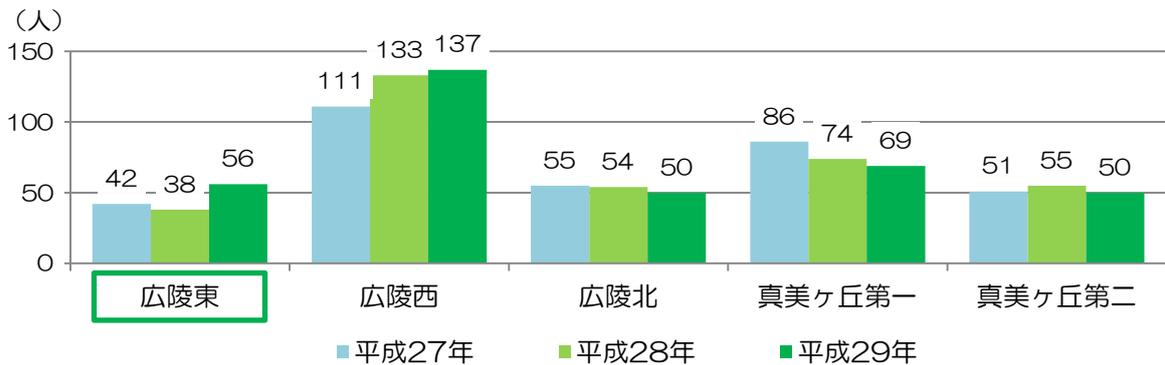
広陵東小学校区の自然増減は、出生が 36 人、死亡が 46 人となっており、10 人の自然減となっている。自然増減数は全小学校区中 4 番目となっている。

4. 保育・教育

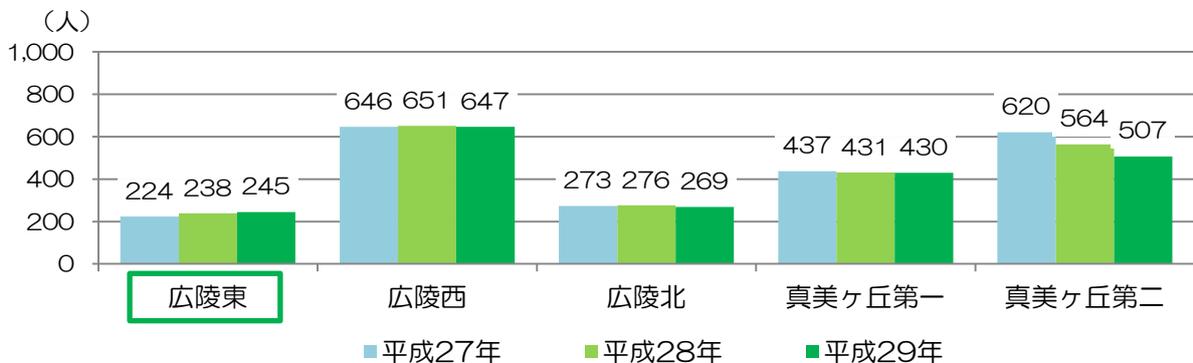
■保育・教育機関等

種類	名称	所在地
保育園	広陵南保育園	南郷 1150
保育園	常葉保育園	百済 1779-3
幼稚園	広陵東小学校附属幼稚園	百済 1831-1
小学校	広陵東小学校	百済 1625-1
中学校	広陵中学校	笠 355
放課後子ども育成教室	かしのきクラブ（広陵東小学校内）	百済 1625-1

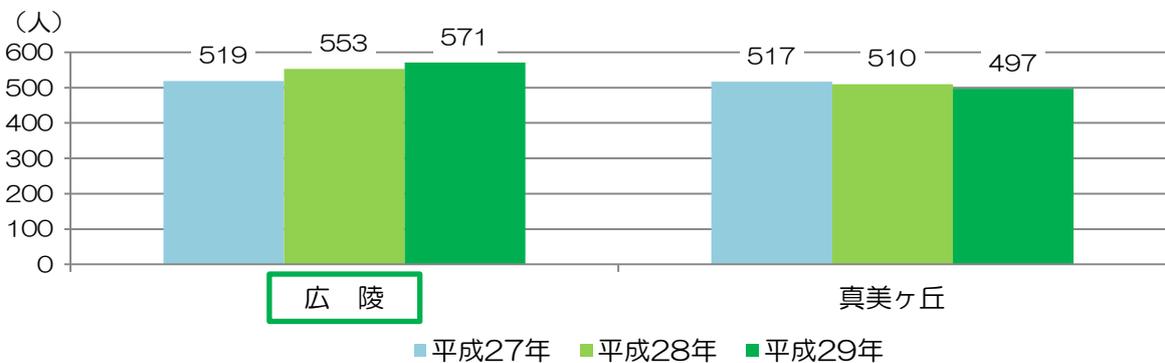
■幼稚園園児数の推移



■小学校児童数の推移



■中学校生徒数の推移



資料：学校基本調査（各年5月1日）

5. 文化

■指定文化財

指定	区分	種別	名称	所有者	所在地
国	重要文化財	建造物	百済寺三重塔	百済寺	百済
国	重要文化財	彫刻	木造十一面観音菩薩立像 木造十一面観音菩薩立像 附 像内納入品	広瀬区	広瀬
奈良県	有形文化財	彫刻	石造浮彫伝弥勒菩薩座像	弥勒講	南郷
奈良県	有形文化財	彫刻	木造十一面観音菩薩立像	正楽寺	古寺
奈良県	有形文化財	彫刻	木造弘法大師座像	与楽寺	広瀬
広陵町	有形文化財	建造物	百済寺 本堂	百済寺	百済
広陵町	有形文化財	工芸品	黒漆塗春日厨子	与楽寺	広瀬
広陵町	記念物	天然記念物	八坂神社 ケヤキの巨樹	八坂神社	古寺
広陵町	民俗文化財	無形民俗 文化財	天神社の綱打ち	天神社	広瀬

6. 公園・緑地

■公園等（指定緊急避難場所）

名称	所在地	水害	震災	火災
広陵運動公園	古寺・百済地内		○	○
百済寺公園	百済地内		○	○
広陵交通公園	古寺地内		○	○
東部農村広場	広瀬 796		○	○
広陵パークゴルフコース	百済 2488-1	○	○	○

7. 防災

■指定避難所

名称	所在地	水害	震災	火災	耐震
広陵東小学校	百済 1625-1	○	○	○	○
広陵東体育館	百済 1801-1		○	○	○

8. スポーツ

■体育施設

名称	所在地
広陵健民運動場	古寺 163-1
広陵町子どもスポーツ広場	古寺 100-3
健民テニスコート	古寺 163-1
広陵東テニスコート	百済 1801-1
広陵東体育館	百済 1801-1

9. 医療

■医療機関・歯科医院

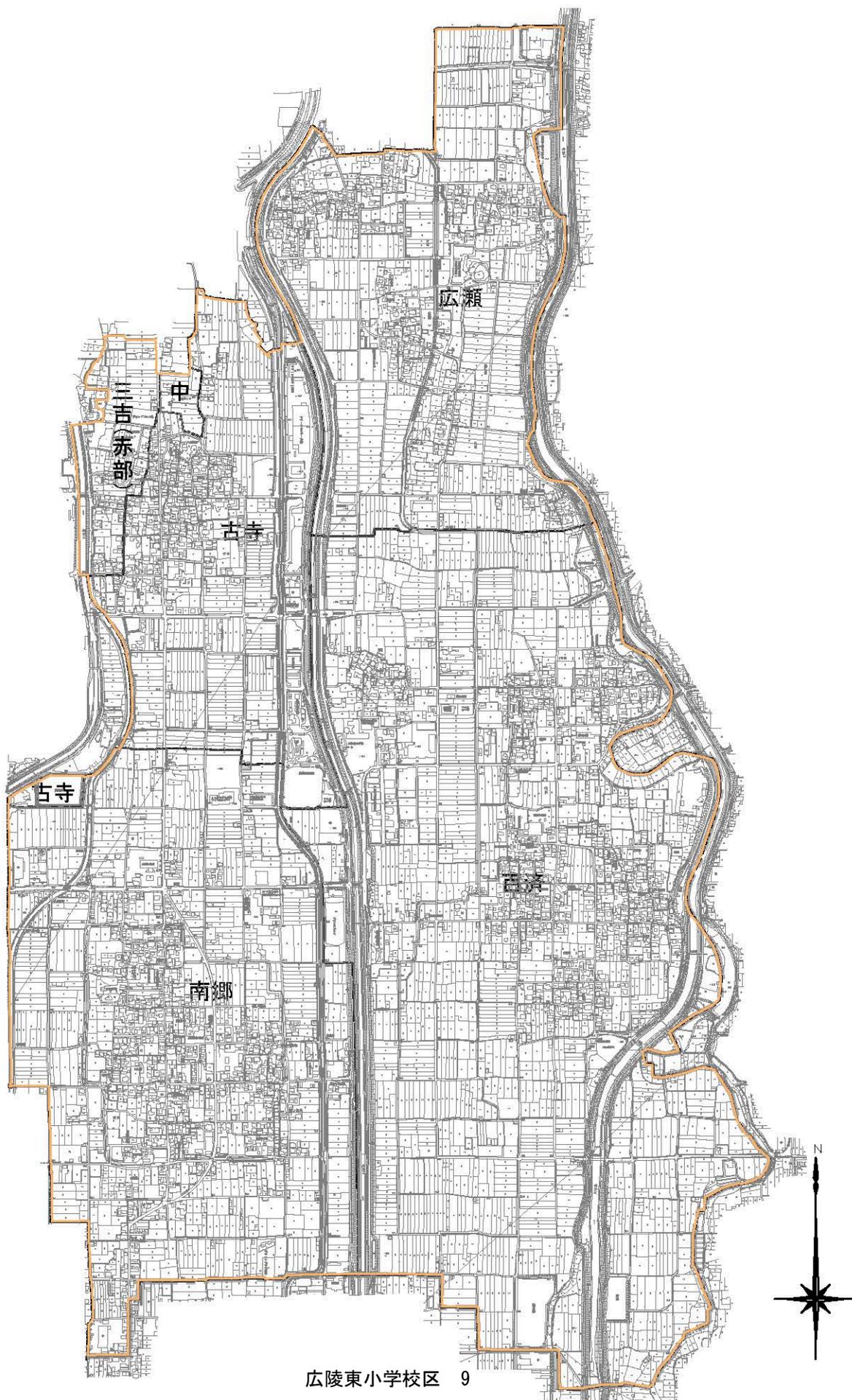
区分	名称	所在地
医療	竹村医院	百済 1327
歯科	長谷川歯科医院	南郷 657

10. 介護・福祉

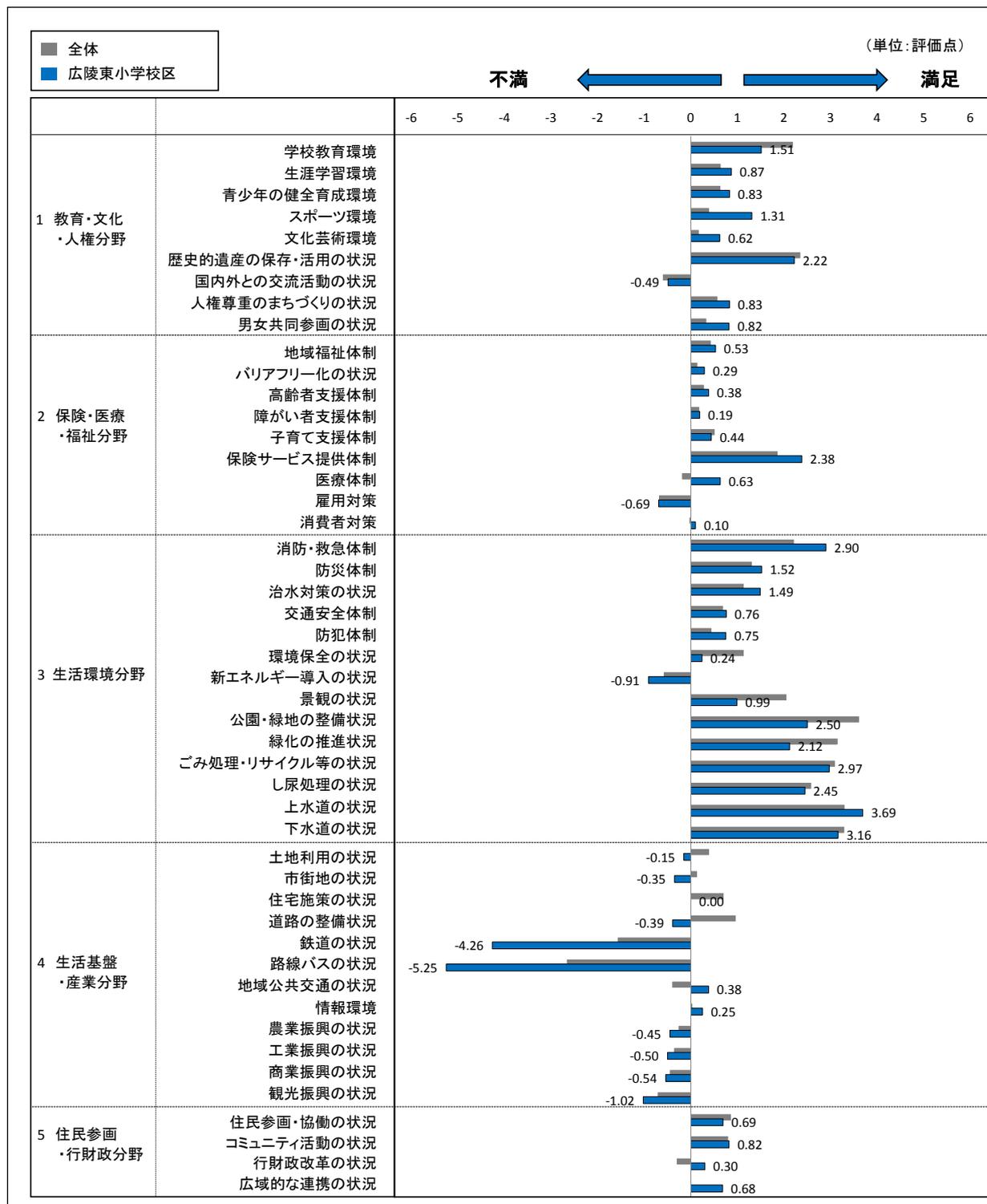
■事業所一覧

区分	名称	所在地
居宅介護支援（ケアマネ）	特別養護老人ホームおきなのだ	南郷 84-1
訪問介護（ヘルパー）	かず介護事務所	南郷 855-1
	訪問介護ステーションおきなのだ	南郷 84-1
通所系サービス	介護老人保健施設かぐやの里	三吉 1799-1
	老人デイサービス翁のだ	南郷 84-1
	リハビリ処 Free Style	南郷 417-4
短期入所系サービス	介護老人保健施設かぐやの里	三吉 1799-1
	ショートステイおきなのだ	南郷 84-1
特定福祉用具販売	グッド・ケア	南郷 1141-1
福祉用具貸与	グッド・ケア	南郷 1141-1
訪問リハビリ	介護老人保健施設かぐやの里	三吉 1799-1
介護老人保健施設	介護老人保健施設かぐやの里	三吉 1799-1
特別養護老人ホーム	介護老人保健施設かぐやの里	三吉 1799-1
軽費老人ホーム	グリーンプラザ南郷	南郷 84-1
グループホーム	グループホーム煌めき	南郷 417-1

広陵東小学校区マップ



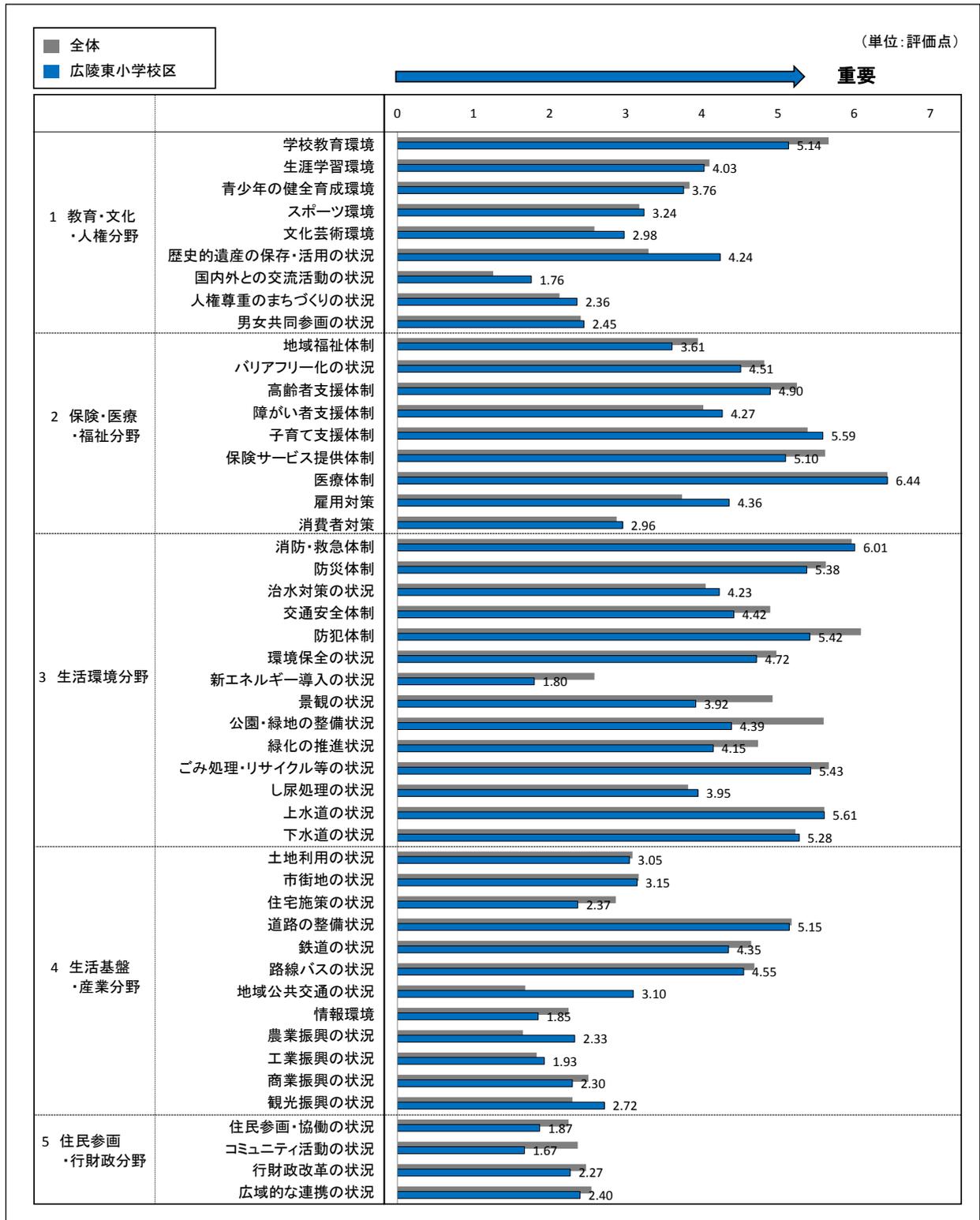
11. 現状に対する「満足度」(アンケート結果から)



各分野における現状の満足度について、広陵東小学校区の上位3項目は、「上水道の状況」が3.69点と最も高く、次いで、「下水道の状況」が3.16点、「ごみ処理・リサイクル等の状況」が2.97点となっている。

下位3項目は、「路線バスの状況」が-5.25点と最も低く、次いで、「鉄道の状況」が-4.26点、「観光振興の状況」が-1.02点となっている。

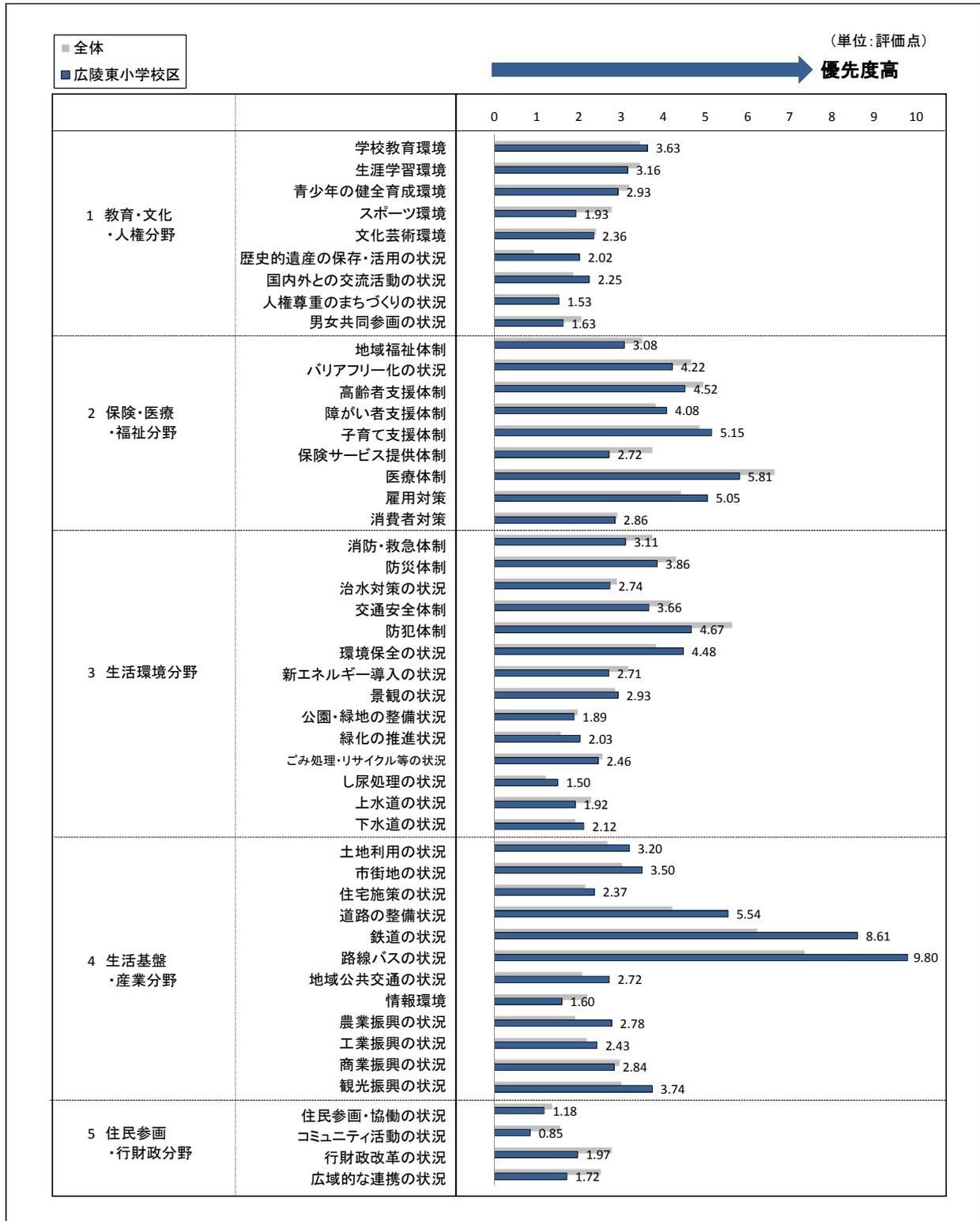
12. 今後の取り組みに対する「重要度」(アンケート結果から)



各分野の今後の取り組みに対する重要度について、広陵東小学校区の上位3項目は、「医療体制」が6.44点と最も高く、次いで、「消防・救急体制」が6.01点、「上水道の状況」が5.61点となっている。

下位3項目は、「コミュニティ活動の状況」が1.67点と最も低く、次いで、「国内外との交流活動の状況」が1.76点、「新エネルギー導入の状況」が1.80点となっている。

13. 優先度<重要度評価－満足度評価>（アンケート結果から）



優先度について、広陵東小学校区の上位3項目は、「路線バスの状況」が9.80点と最も高く、次いで、「鉄道の状況」が8.61点、「医療体制」が5.81点となっている。とくに、上位2項目は、全体を大きく上回っている。さらに「道路の整備状況」が5.54点であり、アクセス面が優先課題といえる。

※11. 現状に対する「満足度」、12. 今後の取り組みに対する「重要度」、13. 「優先度」<重要度評価－満足度評価> の評価点については、平成27年8月実施のアンケート調査において、広陵町の各環境について、教育・文化・人権分野、保健・医療・福祉分野、生活環境分野、生活基盤・産業分野、住民参画・行財政分野の5分野48項目を設定し、項目ごとに5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化で評価点（最高点10点、中間点0点、最低点－10点）を算出した。その詳細については下記のとおり。

※加重平均値（満足度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満である」、「不満であ} \\ \text{る」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～－10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に－10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

※加重平均値（重要度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「やや重視し} \\ \text{ている」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「あまり重視していない」、} \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array}}$$

※優先度の算出方法

各項目の重要度（加重平均値）から満足度（加重平均値）を減算して算出する。

$$\text{優先度} = \left[\text{重要度（加重平均値）} \right] - \left[\text{満足度（加重平均値）} \right]$$

14. まちへの愛着度（アンケート結果から）

■まちへの愛着：広陵町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じているか

上段：人 下段：%	合計	とても愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じている	どちらともい えない	あまり愛着を 感じていない	愛着を感じて いない	無回答
全体	985	245	479	186	55	14	6
	100.0	24.9	48.6	18.9	5.6	1.4	0.6
広陵東	116	36	52	16	8	1	3
	100.0	31.0	44.8	13.8	6.9	0.9	2.6
広陵西	231	65	108	44	9	5	-
	100.0	28.1	46.8	19.0	3.9	2.2	-
広陵北	141	38	65	25	11	1	1
	100.0	27.0	46.1	17.7	7.8	0.7	0.7
真美ヶ丘第一	208	43	102	45	15	3	-
	100.0	20.7	49.0	21.6	7.2	1.4	-
真美ヶ丘第二	286	62	151	56	12	4	1
	100.0	21.7	52.8	19.6	4.2	1.4	0.3

広陵東小学校区の定住意向は、「とても愛着を感じている」、「どちらかという
と愛着を感じている」が合計 75.8%となっており、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の合計 7.8%を大きく上回っている。

15. 定住意向

■定住意向：これからも広陵町に住みたいか

上段：人 下段：%	合計	住みたい	どちらかとい えば住みたい	どちらともい えない	どちらかとい えば住みた くない	住みた くない (できれば引 越したい)	無回答
全体	985	428	307	178	54	14	4
	100.0	43.5	31.2	18.1	5.5	1.4	0.4
広陵東	116	53	31	17	10	4	1
	100.0	45.7	26.7	14.7	8.6	3.4	0.9
広陵西	231	108	57	50	13	2	1
	100.0	46.8	24.7	21.6	5.6	0.9	0.4
広陵北	141	62	37	25	15	2	-
	100.0	44.0	26.2	17.7	10.6	1.4	-
真美ヶ丘第一	208	88	72	38	7	2	1
	100.0	42.3	34.6	18.3	3.4	1.0	0.5
真美ヶ丘第二	286	115	110	48	9	4	-
	100.0	40.2	38.5	16.8	3.1	1.4	-

広陵東小学校区の定住意向は、「住みたい」、「どちらかとい
えば住みたい」が合計 72.4%となっており、「どちらかとい
えば住みた
くない」、「住みた
くない(できれば引
越したい)」の合計 12.0%
を大きく上回っている。

16. まちの魅力

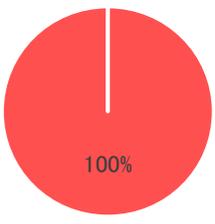
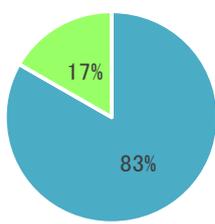
■広陵町の魅力（上位5位）：広陵町はどのようなところが魅力か

	全体	広陵東
第1位	自然環境が豊かである	自然環境が豊かである
第2位	買物の便がよい	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている
第3位	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	歴史的遺産が多い
第4位	歴史的遺産が多い	人情味や地域の連帯感がある
第5位	道路・交通の便がよい	買物の便がよい

17. 住民参加のまちづくりについて（各自治会の役員などへのヒアリング結果から）

① 地域の防犯活動（こどもの見守り活動、地域パトロールなど）に関する考え方

■地域活動の現状	
南郷	○区議員は仕事持ちが多く、見守りは困難であり、活動できる方の協力が必要
古寺	○通学時の学童の安全のため、交通当番をPTA、区議員、老人会で実施 ○年末の自警団による夜間の巡回
百済南	○垣内ごとに、通学時の立哨をボランティアやPTA、交通対策協議会委員などが実施 ○小学生が少なく、一人で下校(特に低学年)することが多いので、登下校時に、住民が子どもに対し声かけをするよう心がけている ○区内の暗い箇所を減らすために、既設の防犯灯のLED化や新設を実施 ○防犯活動として、回覧や各家庭につながっている有線放送で注意喚起を実施
百済北	○防犯活動は垣内ごとの自警団の活動となっており、年末の「火の用心」活動や消防設備点検(年1回)などを実施(人数は増えているが、活動に参加する人は少なく、負担が増えている)
広瀬	○登校時の立哨は、民生委員やPTA、交通対策協議会委員、総代、垣内ごとの住民がそれぞれ実施 ○下校時は百済と広瀬の民生委員が見守りを実施(月1回、1、2年生の下校時)。

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 5 ■ 行政 0 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「区」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域パトロール等の具体的な活動をしているのが区であるから。 ○できることは独自ですが限界があるのでその時は行政との協働が必要。 ○地域(集落)をまとめる必要があるから、問題や対策に取り組みやすい。 ○登下校時の交通事故対策。 ○現在の活動を行っている場合は協働の必要性は少ないが、活動種目を増やす場合は必要と考える。 ○区や子ども会が中心として子どもを守る。 ○防犯対策は地域で行なうことと考えているが、防犯カメラの設置等にかかる費用を区費だけでまかなえないので、町からの補助金等が必要であると考え。 ○本来の地域の繋がりとコミュニティがしっかりしているかどうか、重要であり、高齢者の多い地域の中で、ウォーキングや犬の散歩中でも防犯活動は充実する。 ○警察の巡回(もしくは巡回中の看板設置、パトロール) ○防犯はあくまで未然防止が最優先となる。在来地区特有の防犯はできていることを前提として、更なる未然防止を図る。
協働の必要性	
 <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 5 ■ ない 0 	
協働すべき団体	
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 0 ■ 行政 5 ■ NPOなど 0 ■ その他 1 	

地域の防犯活動に関して、中心的に取り組むべき団体はすべての地域が「区」を選んでいる。
協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

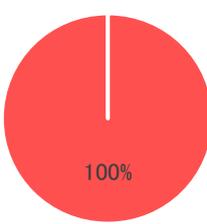
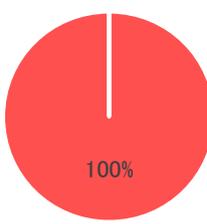
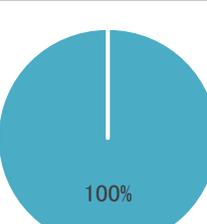
協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで、「その他」となっている。「その他」では「警察」があげられている。

■自由意見

- 地域パトロール中の声かけが最近はずぶらぐ、過去にそういったケースはないものの、声をかけると変質者と間違われてしまう可能性もある。
- 特定の方に防犯活動をしてもらうのではなく、出来る方から出来ることをすることが重要。
- 区の組織化が難しくなっている。
- 現状程度で良いと思う。
- 新住民の子どもが増えてきたが、声かけをしても反応がない。もっとコミュニケーションがとれるような雰囲気になれたらと思う。
- 地域巡回パトロールの充実。(役場公用車の青パト化)
- 提起される課題によって主体(中心となる団体)は異なると思う。通学の見守りは学校関係機関、地域の防犯パトロールは区がやるべきと思う。
- 役場職員や教委等がもっと協力してほしい。
- 声かけを通じ子どもと大人のコミュニケーションがとれる。
- 例えば自警団に防犯活動で夜の見回りをお願いしたとしても、年数回ならいいかもしれないが、定期的に見回りをお願いすると嫌がると思うとのこと。
- 自主的ではなく当番制にする必要があるのではないか。
- 行政が実施しているパトロールと連携していきたい。

② 地域の防災活動（消防訓練、防災組織の設置など）に関する考え方

■地域活動の現状	
南郷	○防災活動は自警団が実施 ○防災物品は区で備蓄を推進
古寺	○区役員が企画・立案し、自警団を中心に防災訓練を実施 ○防災備品の備蓄の推進 ○自警団による年末夜回り等を実施
百済南	○自主防災組織（総代ほか役員、自警団、婦人会、老人クラブ等）による防災訓練、防災活動を実施 ○大雨の際は総代が有線注意喚起、避難場所の案内を放送、見回りを実施（独居高齢者の安否確認は隣近所で助け合っている） ○公民館で AED 講習や防災訓練、消火器訓練を実施（年 2 回） ○自警団がポンプの動作確認（月 1 回）や年末警戒での見回り等を実施
百済北	○東小学校区の防災運動会への参加 ○区として公民館を緊急避難所に設定
広瀬	○過去に研修センターで避難訓練や消火訓練、講義等を実施していたが、高齢化のため訓練をして怪我をしては困るので現在は講義のみ実施 ○災害があった時は、独居世帯の高齢者にそれぞれ安否確認を実施 ○民生委員が高齢者の状況について把握

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 5 ■ 行政 0 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「区」を選択した理由</p> <p>○区・自治会では限界がある時に行政との協働が必要である。</p> <p>○災害が発生したときは、自警団は人数も少なくサラリーマンがほとんどで、自警団及び区民は町外での仕事先が多いため、区で活動しなければならないため。</p> <p>○有事の際の避難行動の確認</p> <p>○消防については初期消火の習得</p> <p>○防災活動は地域全体で行う必要があり、全員参加を目指していくのが大切。</p> <p>○行政の指導を受けて区で活動する。</p> <p>○行政主導ではなく、自分の身は自分で守ることが重要であり、判断は個人（世帯）に依存することを前提としているため。</p> <p>○行政は、防災について考えるきっかけと想定に応じた訓練を支援することに努める必要がある。</p> <p>○必要な物資と避難所の開設の周知方法に課題があり、区との情報共有のホットラインが必要。</p>
<p>協働の必要性</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 5 ■ ない 0 	
<p>協働すべき団体</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 0 ■ 行政 5 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	

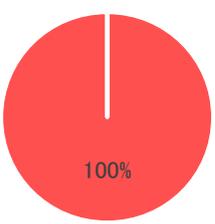
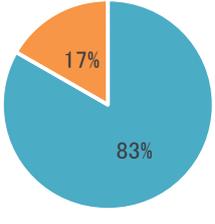
地域の防災活動に関して、中心的に取り組むべき団体はすべての地域が「区」を選んでいる。
協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。
協働すべき団体は、すべての地域が「行政」を選んでいる。

■自由意見

- 防災士の育成が必要。
- いざという時のため、定期的な訓練は必要だと思う。
- 毎年、地区及び校区単位で消火訓練、防災訓練を行うようにできれば良いと思う。
- 地域全体が堤防より低いので、水害に遭った時危険である。避難所までの安全な経路が確保できない。
- 昔から災害が少ないため危機感が薄い。昨今の異常気象による各地の被害状況を思うと対策は必要と考える。まずは啓発活動。何かあれば役員が中心となり自警団や婦人会に協力を求める。
- 自警団のメンバーが昼に勤めているため何かあった時に不在が多い。
- 自警団に防災の自覚がない。連絡網を作ったが8月の台風時に自警団に連絡をした時対応がうまくできなかった。今後は、何回も周知して意識づけていくことが必要である。
- 不在時の対策を立てる必要がある。
- 川に挟まれた地域のため、台風の際にさわやかホールへの避難は難しいので、東小学校を早期判断で開放すべき。
- 避難所等の周知の徹底方法の課題はあるものの、地域での避難所(公民館、高所の寺等)の周知徹底が必要。
- 訓練は繰り返し実施する必要がある事は認識している。
- 先日の台風の際には、広陵町は放送車が走って注意を促していたが、河合町では職員が危険な地域を1軒ずつ訪問したと聞いている。放送だけでの注意喚起は厳しいのではないか？
- 自警団員の半数以上が地域に住んでいないか、県外で仕事をしているため、有事の際対応できる自警団員がほぼいない。
- 地域が川に挟まれているており、台風の際の避難勧告等の周知方法に課題がある。
- 高齢化に伴い自警団の人数が減ってきた。人数が減ったことで、防災活動もできず、細かい所まで手が届いていない状態である。

③ 地域の清掃や美化活動（クリーンキャンペーン、つゆはりなど）に関する考え方

■地域活動の現状	
南郷	○地域の清掃や美化活動は実行組合が実施(木の伐採や落ち葉収集など)
古寺	○つゆはりを実施(年2回、春は区、秋は水利組合主体) ○町主催のクリーンキャンペーンに参加し、区独自でも清掃活動を実施(月1回) ○町設置の公園については、清掃・補修などを区としての協力
百済南	○つゆはりを実施(年2回) ○町主催のクリーンキャンペーンに参加 ○元気隊という美化活動をしていく団体を結成し、花いっぱい活動や清掃活動(年2回)を実施(国(町)からの補助を受け草刈り機を購入)
百済北	○つゆはりを実施(参加者の高齢化) ○町主催のクリーンキャンペーンに参加 ○区による清掃や、老人会による墓掃除を定期的実施(参加者は少ない) ○農協の清掃活動や東小学校の通学路の掃除、東幼稚園のクリーンキャンペーン活動を実施
広瀬	○つゆはりの実施(年3回) ○町主催のクリーンキャンペーンに参加

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 5 ■ 行政 0 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「区」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今まで実行組合が担当していたため。 ○地域での実施する意識付けが必要。 ○区の住民により活動するため。 ○現状の活動で十分だと思うため。 ○清掃活動や美化活動について、地域中心で取り組んでいくべきと考えるが、清掃道具の購入の補助金等を町からの補助が必要であると考える。 ○広瀬川の清掃については、川が大きいため、人手不足より、作業手間の部分で困難であると考え。よって、業者に委託等の対策の検討が必要。 ○区で実施する活動のため。
<p>協働の必要性</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 5 ■ ない 0 	
<p>協働すべき団体</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 0 ■ 行政 5 ■ NPOなど 1 ■ その他 0 	

地域の清掃や美化活動に関して、中心的に取り組むべき団体はすべての地域が「区」を選んでいる。

協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで、「NPO など」となっている。

■自由意見

- 在来地域と真美ヶ丘地域との意識の差がある。
- 道徳、マナーが低下している。
- 水路はだいぶ整備されて清掃は楽になってきましたが、女性の参加者が増えて、積込等重労働する人が少なくなっているように思う。
- 堤防沿いの草刈りを多くし、ポイ捨ての防止や不法投棄をさせない環境を作る。
- 1 級河川について、県により除草が実施されているものの、伸びれば刈るというだけで美化にはつながっていない。クリーンキャンペーンについても、軒が実施する草刈りと調整すればもう少しましになるのでは？
- 森本公園の桜の木が高木で道路等に弊害がある。枝の剪定を村でしなければならぬが、かなり高額となるため、町から村に剪定の一部補助金をお願いしたい。
- 道路にごみが落ちているなど、目立つということはない。
- 堤防の不法投棄については人がいないときにされており、区で対応するのも難しいので役場か警察で対応をお願いしたい。
- 清掃の道具などの物資的な支援が必要なければ、河川の清掃を除いて現状維持はできないか。
- 草を刈っていない所があること、外灯も少ないことから、不法投棄が多い。自警団が率先して草を刈っているが、住宅が密集していないのでゴミを捨てやすい可能性がある。田原本町の川沿いは、下側(水面近く)まで草を刈っている。

④ 公園や集会所などの維持管理に関する考え方

■地域活動の現状	
南郷	○公園、会館、環濠は区で管理、その他は垣内が管理
古寺	○公民館や神社など、区で管理し、維持、修繕などを実施 ○神社の清掃は老人クラブが清掃を実施(月1回、秋は月2回) ○借地公園、神社の樹木の剪定(年1回)、集会所の清掃(隔月)はシルバー人材センターに委託 ○子ども会や老人会が月数回、地域の清掃を実施
百済南	○公民館は垣内ごとに管理(月1、2回清掃) ○公園は垣内ごとに草刈りや剪定、消毒を実施 ○花いっぱい運動として花苗と腐葉土を各戸に配布(年2回、二条垣内)
百済北	○借地公園は、垣内ごとに清掃を実施(森:年2回、今市:年4回)
広瀬	○公園の草刈りを実施(年3、4回、与楽寺公園のみ町が草刈りを実施、一部公園は区役員で除草剤を散布し、破損等で壊れた場合は町が修繕) ○公民館は垣内ごとに維持管理を実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> ■ 区 4 ■ 行政 1 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	<p>「区」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今までがそうだったから。 ○区の管理物であることへの認識を高めるため。 ○区だけでは維持管理の費用負担が大きい ○維持管理には維持費等発生し、区・自治会で管理する必要あり。 ○今後も現状の活動を維持していく。 ○現状、垣内で維持管理を行なっているため今後も(垣内で)管理していくべきと考える。 ○借地公園であるが、管理は垣内主導を図る。ただし、清掃以外の区で困難な作業は行政が適宜ケアする必要がある。 ○車両が多い場合には、蛍光たすき等の対応を促す。 ○町有地の草刈り等の要望は、区長をとおして行政で判断。
<p>協働の必要性</p> <p> ■ ある 2 ■ ない 3 </p>	
<p>協働すべき団体</p> <p> ■ 区 0 ■ 行政 2 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	
<p>「行政」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現状で問題ないため。 	

公園や集会所などの維持管理に関して、中心的に取り組むべき団体は「区」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

協働の必要性は「ない」が多く、60%が選んでいる。

協働すべき団体は「行政」が最も多く選ばれている。

■自由意見

○公民館に耐震工事などの修繕が必要な箇所がある。

○公民館の一次避難所としての耐震チェックをしていない。現在は災害の種類や規模により判断し、避難所を開設している。

○維持管理の経費が高つくため、町の助成制度を充実させる必要がある。

○立派な新公民館があるが、立派すぎて維持管理が大変だと思う。

○どうして維持管理をしているか、よくわかりません。

○年1回、消防設備点検があり、資格を持った自警団が担当している。

○町に申請の上、町からの補助でテレビ等の備品を購入している。

○公民館の老朽化が激しく、網戸の破損等修繕箇所が多くなっているため、修繕費用の補助が必要。

○春に町外から花見客が見受けられるが、ごみの後始末をされずに帰って行く人があり、対策を考える必要がある。

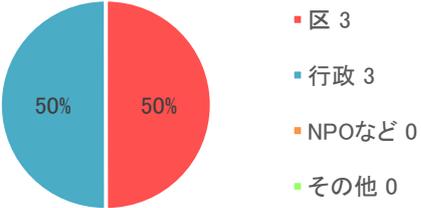
○公園や集会所の維持管理に関しては、現状での意見はそこまで出ていない。集会所についても、これまでから各垣内が実態管理していることから、現状どおりとする。

○堤防清掃時に通行車両が多い。

⑤ 高齢者などを対象とした福祉活動（見守り・声掛け活動、サロン活動等の集いの場の提供など）に関する考え方

■地域活動の現状	
南郷	○民生委員がおしゃべりサロンを、民間施設ではおきな森が高齢者を対象とした活動を実施
古寺	○老人クラブ活動や隣近所の声かけ、パターゴルフなどでの集会を実施 ○独居高齢者世帯が多くなっており、特に女性の高齢者が多く、区役員の全てが男性のため、民生委員と協力し見守り活動を実施
百済南	○独居高齢者に対する定期的な訪問を民生委員が実施 ○毎月1回70歳以上を対象に、二条公民館、お寺で民生委員や二条で太極拳を活動されている人の協力により体操等などをして集まっている。 ○4種類のサロン活動を新子公民館で行っており、それぞれ年齢別ごとに分かれて活動している。 ○寺及び地藏さんの清掃を行っているあすなろ会がある。 ○なごみ会(自主組織)月1回自主的に集まっている。 ○老人クラブ(70歳～)があり高齢者同士の情報交換の場になっている。 ○災害等にかあれば総代や近所の方が声かけ、安否確認をしている。
百済北	○淵口では公民館提供にて定期的な談話会あり。 ○森では、70歳以上対象に真珠会の活動あり。 ○民生委員の活動により、独居世帯は把握できている。
広瀬	○高齢者には民生委員が声かけを行っている。 ○老人クラブで、月1回カラオケやお茶会を実施。参加者の中にはバスを利用している人がいる。最近新しい人が入ってこない。 ○定期的なサロンはない。農村地区のため農作業で体を動かすことも多く、ゲートボール等をする必要がない。

■活動の実施に対する考え方	
中心に取り組むべき団体	中心に取り組むべき団体を選択した理由
<ul style="list-style-type: none"> ■ 区 2 ■ 行政 2 ■ NPOなど 0 ■ その他 1 	<p>「区」を選択した理由</p> <p>○区の人でも常に個人的に声かけをしている。</p> <p>○区から基本的に活動に対する補助金は出しているが、区でまかないきれない部分については町からの補助が必要だと考える。</p> <p>○高齢化、独居世帯の増加はどの地域にも同様の課題があり、行政も元気塾などでの支援を行っている。</p>
<p>協働の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 5 ■ ない 0 	<p>「行政」を選択した理由</p> <p>○孤独死等発生することがある。</p> <p>○福祉活動、声かけ他、個人的にはなかなかできるものではないので、行政が行うのがベスト。</p> <p>○区でサロン活動等は必要ないと思っている人が多いので、行政が先駆けて取り組んでほしい。</p> <p>「その他」を選択した理由</p> <p>○今までそうだったから。また、限度があり協働は必要。</p>

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <p> ■ 区 3 ■ 行政 3 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 </p>	

高齢者などを対象とした福祉活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「区」及び「行政」が同数となっており、次いで「その他」となっている。「その他」では、「民生委員」や「民間施設」があげられている。

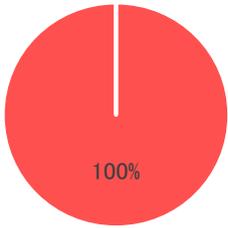
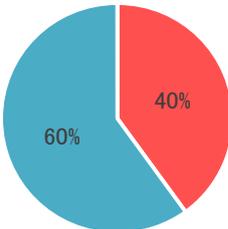
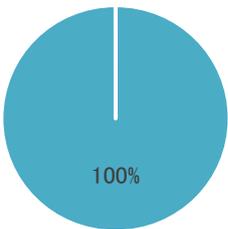
協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

協働すべき団体は、「区」及び「行政」が同数となっている。

■自由意見
<p>○声をかけられるのが最近、嫌だと感じる方が増えている。</p> <p>○活動メンバーが固定され女性が多く、男性が少ない。</p> <p>○助け合う、いたわりの気持ちが薄れている。</p> <p>○月 1 回、高齢者が顔を合わせるような催し(カラオケ等)を開催できれば。</p> <p>○老人会がどういう活動しているのか分からないが、母親は 1 人になって、あまり参加している様子はない。</p> <p>○入院が 2 週間超えると見舞金として 3 万円出る。(年齢関係なく)</p> <p>○地域の役員で情報交換しお互いや近所の近況を知る。</p> <p>○人口が少ないから隣近所の様子がわかる。</p> <p>○婦人会の加入率が下がってきている。</p>

⑥ 地域での子どもを対象とした活動(子ども同士や地域住民との交流の場・学習の場の提供など)に関する考え方

■地域活動の現状	
南郷	○少年野球や子ども会が子どもを対象とした活動を実施 ○少年野球で廃品回収を実施
古寺	○子ども会が子どもを対象とした活動(花まつり・クリスマス会・お別れ会等)を実施 ○夏のラジオ体操、大とんどの芝集めを実施
百済南	○子ども会活動として、とんどの芝集め、防災訓練、夏のラジオ体操(1週間)、地藏盆を実施 ○地藏盆で子どもに500円相当のお菓子を配布 ○毎年春に日帰りの親睦旅行を実施(子どもは500円で旅行に参加できる)
百済北	○子ども会が映画観賞、ラジオ体操、陶芸教室、万華鏡作り、ボウリング大会などを実施(子ども会の加入率は90%以上) ○地藏盆やだんじり祭り、とんどを実施
広瀬	○子ども会で夏祭りやクリスマス会、お別れ会等を実施(子ども会の会員は約25人) ○だんじりを実施 ○地藏盆では寺の住職が紙芝居を実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 5 ■ 行政 0 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「区」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○限度があり行政との協働は必要であるから。 ○昔からの伝統的なものを学ぶ。 ○世代間交流。 ○地域活動の中心となる、また、子ども等の活動を通して、区全員の参加の交流を実施。 ○これまでとおり、区中心の活動とする。 ○防災運動会の際は、東小学校、東幼稚園の働きかけから、多くの子どもが参加したが、基本的には区の能動的な活動を期待したいため。 ○既に区で実施できている。
<p>協働の必要性</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 2 ■ ない 3 	
<p>協働すべき団体</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 0 ■ 行政 2 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	

地域での子どもを対象とした活動に関して、中心的に取り組むべき団体はすべての地域が「区」を選んでいる。

協働の必要性は「ない」が多く、60%が選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれている。

■自由意見

○交流事業の開催を推進する。

○声掛けしようにも知らない人としゃべるなという風潮で接しきれない。

○未来ある子どもたちのため、地域住民全体で教育する(育てる)ことが大切。以前に実施した通学合宿などは集団生活を通して仲間意識を持たせる。

○現状で十分だと思う。

○子どもが少ないので、活動らしい活動ができているかわからない。塾通い等で時間が制限され余裕がない。

○他の地域の活動内容から判断できる部分もあると考えるが、他地域と協働で検討するのも地域にとっては良いのではないか。

⑦ まちづくりの方向性に関する考え方

■地域活動の現状	
南郷	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりを行うには行政との連携は欠かせないが、方向性をお互いに統一する必要がある ○公共下水の工事が追いついていない
古寺	<ul style="list-style-type: none"> ○自治組織の活性化を図る必要があり、町の方向性を中心にしている ○世帯数は増加しているが、高齢化と独居住宅の増加傾向が見られる
百済南	<ul style="list-style-type: none"> ○転入者が少ない。交通が不便で、高齢化の問題もあり、空き家もいずれか増えてくる。そういったことが要因となり、田も耕作できなくなり、荒れ地が多くなる。 ○現在、4 垣内に分かれているが、高齢化によって組織を検討していく必要がある ○農地(休耕地・耕作放棄地)の問題がある
百済北	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家や遊休耕作地(農業継承者減少)、担い手不足などの問題がある ○高齢化や農作業の委託により、農業を知らない人が増えている
広瀬	<ul style="list-style-type: none"> ○2世帯の家も核家族になってきており、定年して違う場所へ移住する場合もあり、空き家が増えている ○農業の後継者がおらず、委託して維持していくことになるため、区域外の人が畑作業をしにくる

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p>100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 0 ■ 行政 5 ■ NPOなど 0 ■ その他 0 	<p>「行政」を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりには行政との連携が必要。 ○行政の方向性を踏まえて、区・自治会で実行に向けて取り組むことが大切。 ○区は区の運営、課題への取り組みで精一杯であり、本題への取り組みまで踏み込めないのではないかと思う。 ○町民としての自覚と責任を持った人が行政の指導により活動する。 ○働き手や農業に関しては町と農協で連携をとって進めてもらいたい。 ○地域性を大事にしつつ町全体で検討するものであるため。
<p>協働の必要性</p> <p>100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ある 5 ■ ない 0 	
<p>協働すべき団体</p> <p>83% 17%</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 区 5 ■ 行政 0 ■ NPOなど 0 ■ その他 1 	

まちづくりの方向性に関して、中心的に取り組むべき団体はすべての地域が「行政」を選んでいる。

協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「その他」となっている。「その他」では「農協」があげられている。

■自由意見

○水害でどうなるか分からないし、その時の排水対策が課題。高田市は空き家を市が買い、貯水池にしている。

○地域性を大事にしつつ町全体で検討するものであるため。

○町の姿勢自体がおかしいのに、どう協力して進めるのかわからない。ちゃんとしてよう広陵町！！

○区への加入が進まないところがある。

○他町では、高齢者に交通機関利用の優待券制度あると聞いた。現状の元気号は、片道だけしか利用できない。朝夕だけでも直接家からの送迎手段を町も考えてみてはどうか。

○田んぼについては、放棄地対策が必要となるが、農協との連携にて、作り手の確保を期待する。

○コミュニティバスは玄関の前まで来て欲しい。

○昔から住んでいる人と新しくやってきた人とで意見・考え方が食い違うことがある。

○車を運転できる間は良いが、免許を返納した際にはスーパー等に行きにくい環境である。